OPEN CAMPUS 2026 Event Schedule

オープンキャンパス・進学相談会・学園祭 日程

オープンキャンパス・
進学相談会の情報は
こちらでご覧ください。

6/13(土)	進学相談会
7/19(日)	オープンキャンパス・進学相談会
8/23(日)	オープンキャンパス・進学相談会
10/17(土)・18(日)	三茶祭
2027/3/14(日)	進学相談会

オープンキャンパス・進学相談会についてのお問い合わせは

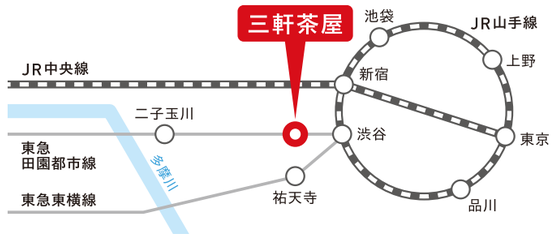
TEL：03-6453-1700

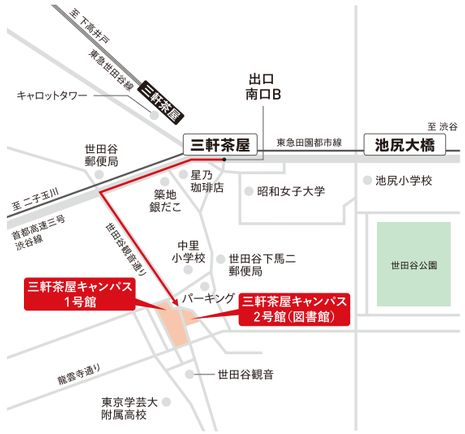
日程の変更、予約制となる場合があります。

ACCESS
アクセス

東急田園都市線
「渋谷駅」から急行で1駅、
「三軒茶屋駅」から
徒歩約10分

東急東横線
「祐天寺駅」から、
東急バス三軒茶屋駅行き（約10分）
「日大前」下車徒歩約1分





SUPPORT
充実した学生サポートやプログラムの情報はこちら

留学・国際交流
海外研修、
留学プログラムを
積極的に推奨

大学院情報
日本大学大学院
スポーツ科学研究科

奨学金
経済面でも安心して
学修に取り組める

学生寮
はじめての
1人暮らしも安心

**スポーツサポート
システム**
スポーツを「勝利に導く」
ための支援活動

CONTACT
お問い合わせ

日本大学　三軒茶屋キャンパス

〒154-8513　東京都世田谷区下馬3-34-1　TEL: 03-6453-1600

e-mail: adm.rmss@nihon-u.ac.jp　https://www.css.nihon-u.ac.jp/

UNIVERSITY
ACCREDITED
2025.4～2032.3

日本大学
NIHON UNIVERSITY

スポーツ科学部
2027

COLLEGE OF

SPORTS SCIENCES

スポーツを通じて「人間力」を高める

理論と実践で スポーツの未来を築く

スポーツ科学部では、
スポーツ理論と実践の両面からアプローチする総合科学として
スポーツを位置づけ、その体系化を図っています。
勝利という成果が重視される競技スポーツを主な研究対象とし、
自然科学の領域にとどまらず、医科学・社会科学・形式科学を含む
学際的な視点を取り入れながら、国際的かつ総合的な探究を進めています。
こうした教育・研究を通じて、競技スポーツに関わる
さまざまな課題を発見し、科学的に解決していく力を育成します。

※「教育の目的と目標」の詳細はこちら

※「3つのポリシー」の詳細はこちら

学部長メッセージ

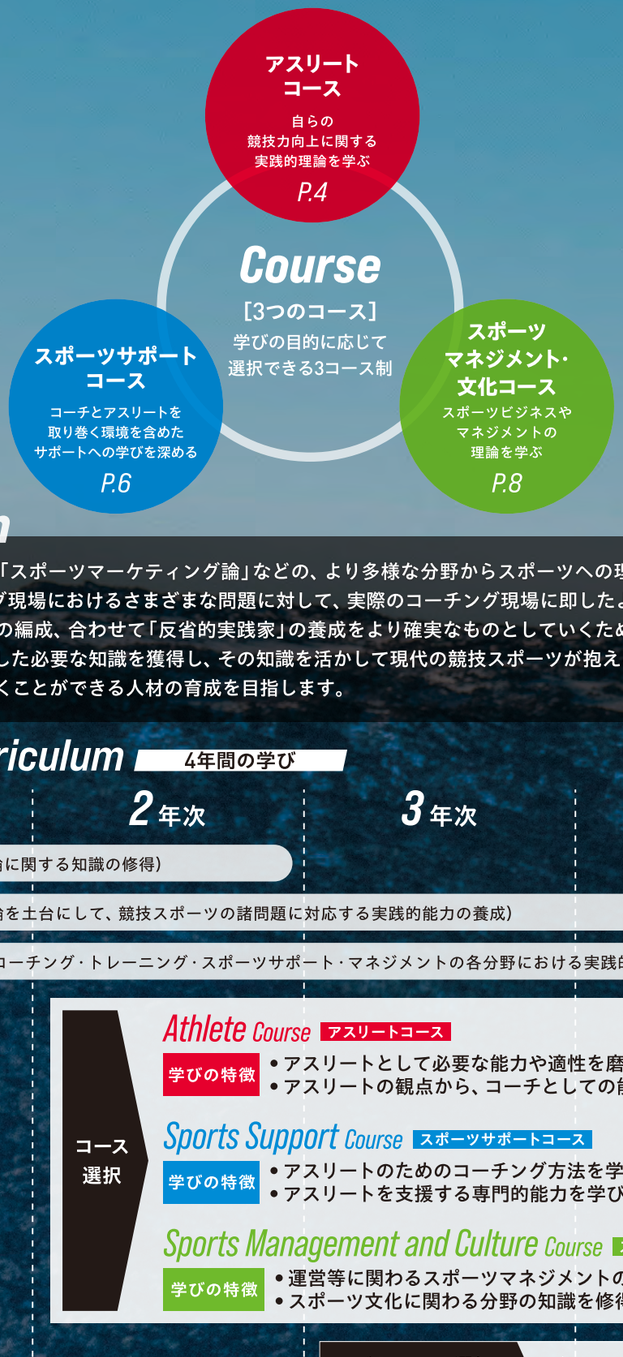
「人間力を磨くスポーツ科学」

スポーツ科学部では、令和8年度より新しいカリキュラムをスタートします。これまでのアスリート自身が競技力向上を目指す「アスリートコース」、アスリートを多様な分野で支える「スポーツサポートコース」に加え、スポーツの価値や文化を理解し、多様なスポーツ観を養う「スポーツマネジメント・文化コース」を設置します。そして、このコースではスポーツマネジメントやスポーツビジネスの分野で社会に貢献できる能力を育成します。
3つのコースはいずれも競技スポーツの頂点を目指して挑戦し続けます。そして、知識の修得にとどまらず、フィールドワークやPBL（Project Based Learning）など多くの実践現場を経験することで、「反省的実践家」としての能力を高めます。そこで求められる能力は、課題発見力・解決力、論理的思考力、コミュニケーション力、チームワークといった、社会に出ても必要とされる力です。
スポーツ科学部では混沌とした時代にあってもスポーツを通じて人間力を高め、どのような道に進もうとも自信と誇りを持って歩める人材を育成します。そのために教職員は「すべては学生のために」をモットーに、全力で学生教育に力を注ぎます。保護者や指導者とも連携し、学生が主体的に学修できる環境と多彩な実践的プログラムを提供します。さらに、私たちは学生が安心・安全に生き生きと学べる楽しいキャンパスを目指します。

スポーツ科学部　学部長　**益子 俊志** 教授

早稲田大学教育学部教育学科卒業。博士(医学)。ラグビー7人制日本代表。指導者としては、元ラグビー7人制日本代表コーチ、元早稲田大学ラグビー部監督、埼玉県ラグビー成年国体監督などを歴任。「コーチング学」を主とした授業を担当。

4年間でスポーツの
核心を知る



Curriculum

「スポーツビジネス論」や「スポーツマーケティング論」などの、より多様な分野からスポーツへの理解を深めることができる科目の設置、コーチング現場におけるさまざまな問題に対して、実際のコーチング現場に即したより実践的なコーチングを学ぶことができる科目の編成、合わせて「反省的実践家」の養成をより確実なものとしていくためのカリキュラム編成となっています。時代に即した必要な知識を獲得し、その知識を活かして現代の競技スポーツが抱える課題に対し、さまざまな方法を用いて解決に導くことができる人材の育成を目指します。

Four-Year Curriculum 4年間の学び

1年次 2年次 3年次 4年次

基礎科目（基礎理論に関する知識の修得）

共通科目（基礎理論を土台にして、競技スポーツの諸問題に対応する実践的能力の養成）

拡張科目（PBL）（コーチング・トレーニング・スポーツサポート・マネジメントの各分野における実践的なスキルを修得）

コース選択

Athlete Course アスリートコース

学びの特徴
- アスリートとして必要な能力や適性を磨きます。
- アスリートの観点から、コーチとしての能力を高めます。

Sports Support Course スポーツサポートコース

学びの特徴
- アスリートのためのコーチング方法を学修します。
- アスリートを支援する専門的能力を学びます。

Sports Management and Culture Course スポーツマネジメント・文化コース

学びの特徴
- 運営等に関わるスポーツマネジメントの理解を深めます。
- スポーツ文化に関わる分野の知識を修得します。

ゼミナール選択 ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・卒業論文

平野 海祝（アスリートコース 2025年卒） Photo by Kosuke Shinozaki

Athlete Course

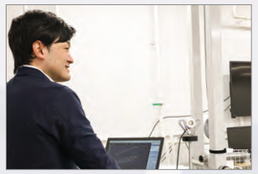
アスリートコース

アスリートセンタードな学びから人間的成長を

自らの競技を対象に「運動創発能力（コツやカンの獲得）」を磨きます。科学的エビデンスに基づく自己分析を通じてパフォーマンスを向上させるとともに、競技者としての学びをコーチの視点で再構成。高い実践知と論理的思考力を備え、現場の課題を解決できるアスリートや指導者を目指します。

Four-Year Steps

学びのステップ



1年次

コース選択

基礎固め スポーツ科学に必要な基礎知識を修得

競技スポーツとは何か、コーチングとはどういうものかなど、4年間の学びの根幹となる考え方を身につけます。また課題の発見・分析から問題解決への能力を備えた「反省的実践家」としての素養を身につけます。

2年次

2年次 開講専門科目

- 技術トレーニング論
- 体力トレーニング論
- 戦術トレーニング論
- 測定競技論
- 判定競技論
- 評定競技論

実力アップ 競技スポーツに関する専門性を高める

自身の技術向上を図るため、具体的なトレーニングの実施方法や実践的な戦術を学修。自身が取り組んでいるスポーツの特性や自身の競技力を構成する要因とその発揮の仕方について理論と実践の往還を繰り返しながら学びます。

3年次

ゼミナール選択

3年次 開講専門科目

- 技術トレーニング論演習
- 体力トレーニング論演習
- 戦術トレーニング論演習
- 測定競技論演習
- 判定競技論演習
- 評定競技論演習
- ゼミナールⅠ・Ⅱ

未来づくり 社会でスポーツに携わるための実践力を養う

自らの競技力や経験知を改めて見つめ直し、他者へいかにして還元するのかや、自身のスポーツ経験を活かしたキャリア（デュアルキャリアを含め）を見据えながら学修します。

4年次

- ゼミナールⅢ・Ⅳ・卒業論文

Featured Lecture

「戦術トレーニング論」

プロサッカーコーチの現場経験を持つ教員から、スポーツにおける戦術の一般原則を深く学んでいきます。
さまざまな競技の事例や学生自身の経験談も踏まえながら、戦術を多角的に捉えることで、どんな競技にも通じる本質的な視点を身につけます。単なる知識にとどまらず、試合中に正しい戦術的判断を下す力の修得も目指します。

Student Voice

このコースの授業の魅力は？

他種目から得られる学び 自分の専門種目に新たな視点

私は弓道を専門種目として日々練習をしていますが、弓道は基本的に個人競技のため、団体競技の戦術的トレーニングは関係ないと思っていました。ですが、先輩に勧められて受講した「戦術トレーニング論」で考えが変わりました。さまざまな競技種目の戦術について知ることで、メンタル面や戦術的思考は共通しているということを学び、新たな視点で競技に向き合えるようになりました。

天笠 敬大さん アスリートコース 3年

Message from Professor

楽しく学び成長する4年間 仲間との出会いが未来を拓く

私はサッカーの指導について研究し、プレー分析や育成を科学的に探究しています。
スポーツ科学部には、別の種目の学生と一緒に授業を受け、刺激し合いながら成長できる環境があります。学べば学ぶほど、自分が知らないことの多さに気づき、毎日が新しい発見の連続になるはずです。私自身、大学時代の恩師との出会いが今につながっています。皆さんも仲間と一緒に、楽しむ気持ちを持って挑戦してほしいと思います。

山本 大 教授
専門領域：
サッカーコーチング

教員一覧はこちら

Sports Support Course

スポーツサポートコース

健全なスポーツ活動を支える専門的能力を育む

競技者が本来の力を発揮できるよう、効率的なトレーニング環境の在り方や心理的課題の分析・解決手法を学びます。また、身体づくりに欠かせない栄養指導など、多角的・科学的アプローチでアスリートを支える能力を修得。現場のニーズを的確に捉え、最適な解決策を提示できる高度な専門性を身につけます。

令和8年度入学者より、
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格の免除適応コース承認校
となりました。

Four-Year Steps
学びのステップ

1年次

コース選択

2年次

2年次 開講専門科目
- コーチング基礎演習Ⅰ・Ⅱ
- タレントの発掘と育成
- スポーツ測定評価
- コンディショニング論
- アスレティック リハビリテーション　ほか

実力アップ アスリートを支える専門知識を深める

スポーツを『ささえる』という観点から、運動器の機能、スポーツ外傷・障害の予防、コンディショニングやリコンディショニング、栄養指導などの専門理論を深く学修。競技者のパフォーマンス向上や、スポーツに関連する心理的な課題の分析・解決に寄与できる専門知識を身につけます。

基礎固め スポーツ科学に必要な基礎知識を修得

競技スポーツとは何か、コーチングとはどういうものかなど、4年間の学びの根幹となる考え方を身につけます。また課題の発見・分析から問題解決への能力を備えた「反省的実践家」としての素養を身につけます。

3年次 開講専門科目
- コーチングのための栄養学
- スポーツマッサージ演習
- スポーツ測定評価演習
- バイオメカニクス演習
- アスレティック リハビリテーション演習
- スポーツ医学演習
- ゼミナールⅠ・Ⅱ　ほか

ゼミナール選択

3年次

未来づくり 社会でスポーツに携わるための実践力を養う

スポーツサポートに関する専門知識と実践現場を通した経験を統合し、社会にある「スポーツ」とどのように接続するのか、「スポーツ」に携わるとはどのようなことが想定されるのかなど、さまざまな観点から実践的に学修します。

4年次
- ゼミナールⅢ・Ⅳ・卒業論文

Featured Lecture

「スポーツ栄養学演習」

「スポーツ栄養学の基礎」で学んだ基本的な知識について、演習を通して理解を深めていきます。特に、栄養支援をする上で重要な体組成測定や食事評価法などの栄養アセスメントを実践し、実施時に配慮すべき点を修得します。
競技者、支援者それぞれの立場から、栄養に関わる数字の捉え方や活用法についても考えていきます。

Student Voice
このコースの授業の魅力は？

スポーツ栄養を実践的に修得 身体づくりに活かす力を養う

「スポーツ栄養学演習」では、スポーツ栄養学の基礎をもとに情報を分析・評価し、コンディショニングに活用する力を養うことができます。
私は、チアリーディングのパフォーマンス向上のために、栄養面と体の変化とを結びつけて考えることに興味を持ち、履修を決めました。特に、自分の食事を分析する演習が印象的で、明確な課題を客観的に把握することができました。

佐藤 羽菜さん　スポーツサポートコース 4年

Message from Professor

求められる役割を理解し、行動できる力を養う

競技者は、良好な健康・栄養状態を維持することで、パフォーマンス向上を目的として計画されたトレーニングに主体的に取り組むことが可能になります。
支援者にできることは限られますが、自らの役割を明確にし、「誰に」「いつ」「どのように役立つのか」を常に考えながら、自ら行動できる人材は、現場に不可欠な存在です。
理論と現場での実践を重ねながら、主体的に行動し現場で活躍できる支援者をともに目指しましょう。

辰田 和佳子 教授
専門領域：実践栄養学

教員一覧はこちら

Sports Management and Culture Course

スポーツマネジメント・文化コース

多様な視点から スポーツの価値を社会へ

拡大するスポーツビジネスや地域連携、国際政策など、社会環境の変化に対応できる専門性を養い「する・みる・ささえる」の全方位からマネジメントを展開。スポーツを通じた社会課題の解決策を創造性と分析力で提示し、実社会の多様なステークホルダーと協働して新たな価値を創出する人材を育成します。

※民学連携による教育・地域貢献型スポーツ教室の実践風景

Four-Year Steps

学びのステップ

1年次 コース選択

基礎固め スポーツ科学に必要な基礎知識を修得

競技スポーツとは何か、コーチングとはどういうものかなど、4年間の学びの根幹となる考え方を身につけます。また課題の発見・分析から問題解決への能力を備えた「反省的実践家」としての素養を身につけます。

2年次 ゼミナール選択

実力アップ 競技スポーツを支える専門知識を深める

プロスポーツの発展や地域活性化、国際的な課題に対し、スポーツの力で解決策を提案できる人材を育てます。「する・みる・ささえる」の視点からビジネスや行政を学び、実社会で活躍する実践力を身につけます。

2年次 開講専門科目

- スポーツ制度・行政
- スポーツ産業論
- スポーツビジネス論1（プロスポーツビジネス）
- スポーツビジネス論2（プロスポーツ経営戦略）
- スポーツマーケティング論
- スポーツ文化特殊講義

3年次

未来づくり 社会でスポーツに携わるための実践力を養う

地域やプロクラブ、競技団体、自治体などとの連携を通して、現場の情熱だけでなく、経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報）の組み合わせなど、マネジメントの手法を学修します。

3年次 開講専門科目

- スポーツビジネス論演習
- スポーツマネジメント論演習
- スポーツマーケティング論演習
- スポーツ社会学演習
- スポーツ文化特殊講義演習
- ゼミナールⅠ・Ⅱ

4年次

- ゼミナールⅢ・Ⅳ・卒業論文

Featured Lecture

「スポーツビジネス論」

国内外におけるスポーツビジネスの基本的概念や特徴、及びスポーツ産業の勃興、発展について学びます。
現在のスポーツビジネスの実践事例について、「するスポーツ」「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」の観点からその特徴を把握し、今後さらなる発展が予想される国内外のスポーツビジネスについて考えるための基礎を身につけます。

Student Voice

このコースの授業の魅力は？

スポーツビジネスの動向を知り 競技環境の向上策につなげる

私は女子野球の普及や推進の研究をするために、サポートコースを選択しました。
「スポーツビジネス論」では、自身の関心のあるスポーツと関連付け、国内外のスポーツビジネス事業の特徴とその動向について学ぶことができます。どのようにすればより発展的なスポーツ産業を展開できるのか、具体的な知見が得られ、将来について考えるヒントになっています。

石渡 美穂さん 4年

※スポーツマネジメント・文化コースは2026年度より設置。

Message from Professor

経営のメカニズムを解明し プロスポーツを支える人材に

「急激に成長拡大しているクラブのマネジメントにどのような変化が起きたのか」「数倍に増えた放映権料をクラブはどのように使ったのか」。そのような問題意識を背景に、プロスポーツクラブの経営に関する研究を行っています。
プロスポーツクラブの経営は、一般企業の経営と大きく異なります。スポーツ界の未来を担い、プロスポーツを支える人材を育成することが私の任務だと思っています。ぜひ、一緒に学びましょう。

※新カリキュラムではスポーツビジネス論Ⅰ・Ⅱを担当予定

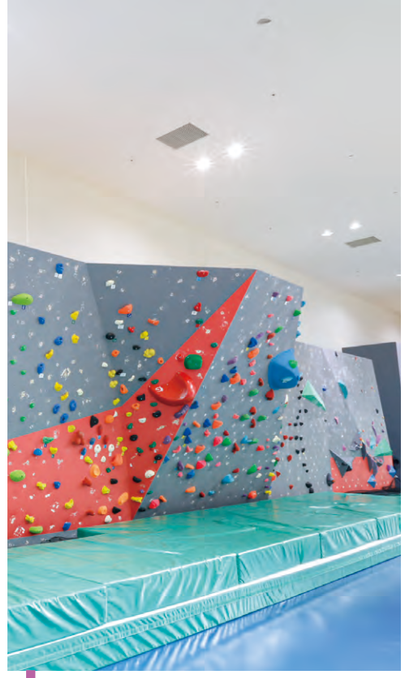
佐々木 達也 教授
専門領域：
スポーツビジネス、
スポーツマネジメント

教員一覧はこちら

FACILITY

主な施設紹介

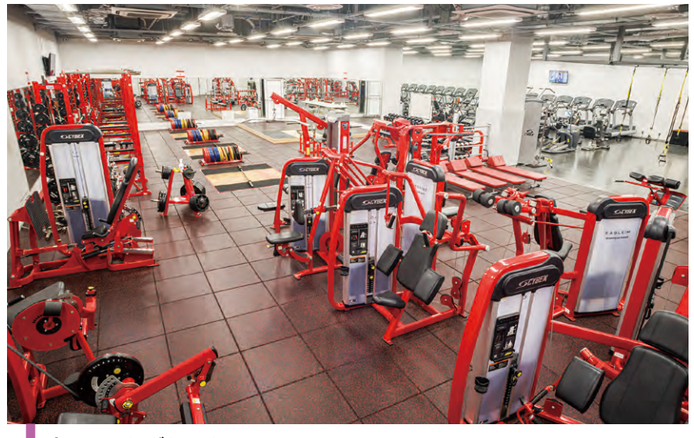
実験室7(科学技術センター)
実験・計測・トレーニングなどさまざまな機能を持つ実験室



クライミングウォール
ランニングスペースに併設されたクライミングウォール

アリーナ／ランニングスペース
1周約180mのランニングスペースを備えた体育館

プール
年間を通して利用可能な25m屋内温水プール



トレーニングルーム
フリーウエイト・マシントレーニング・有酸素・フリーの4つのエリアに最新の設備が整っている

1401教室ラーニングコモンズ
壁面ホワイトボードやファミレス席を備えた、学生主体のグループ学修ができる教室

図書館
専門図書を豊富に取り揃えている

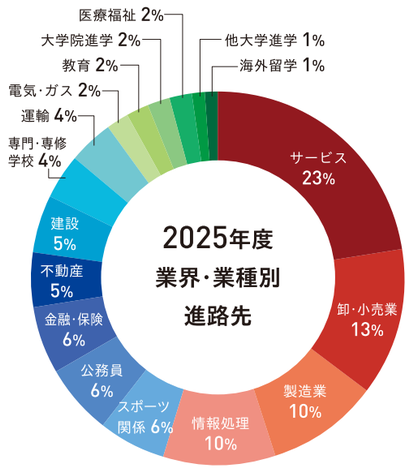
CAREER

キャリア・就職支援

就職実績

スポーツ科学部の卒業生は、スポーツ領域のみならず、サービス業、製造業、卸・小売業、情報通信業をはじめ、幅広い分野に進出。民間企業はもちろん官公庁でも活躍しています。

卒業生の進路・就職状況の詳細はこちら▶



民間企業

製造業	三菱電機、東芝、ダイハツ工業、本田技研工業、ブリヂストンスポーツ、豊田自動織機、三菱重工、日本製鉄、東レ、住友電気工業、ニチバン、プーマジャパン、ZETT、ビームス
情報通信業	NTT東日本、キャノン電子テクノロジー、トランスコスモス、富士通、JR北海道、JR九州
卸・小売業	イオンリテール、ゼビオ、アルペン、ニトリ、トヨタモビリティ東京、ヴィクトリア、ファーストリテイリング、ジャパネットホールディングス、アルビオン、コカ・コーラボトラーズジャパン、大塚商会
金融・保険業	三井住友銀行、城南信用金庫、第一生命保険、明治安田生命保険、三井住友海上火災保険、りそな銀行、千葉銀行、丸三証券、常陽銀行、佐賀銀行
サービス業	東急スポーツシステム、アイリスオーヤマ、ジェイアール東海ツアーズ、セコム、リクルート、星野リゾート、伊藤園、セントラルスポーツ、ジャクパ、ANAインターコンチネンタル万座ビーチリゾート
エンターテイメント	吉本興業ホールディングス、セレスポ
不動産	東急リバブル、オープンハウスグループ、森トラスト、住友不動産ステップ、東急コミュニティー
教育	日本大学

公務員

国家公務員	東京国税局、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、法務省矯正局
県庁・市役所	戸田市役所、北海道庁、高知市、熊谷市、大和市、吉川市
警察	警視庁、神奈川県警、千葉県警、兵庫県警本部、長野県警、山梨県警察本部、茨城県警、愛知県警、岡山県警、宮崎県警
消防	東京消防庁、横浜市消防局、さいたま市消防局、大津市消防局

その他　プロスポーツ選手として競技継続

■キャリア支援

1年次	2年次	3年次	4年次
新入生キャリアガイダンス	2年生就職キックオフセミナー	3年生キャリアガイダンス	フォローアップセミナー
スポーツ＆メディア講座　1～3年			
公務員講座Ⅰ	公務員講座Ⅱ		各種公務員面接指導
		キャリアデザイン講座	
		4年生内定者による就活報告会	
		など	

卒業生紹介

スポーツ科学部の学びを活かし、さまざまな分野で活躍する卒業生を紹介します。

姜 瑞賢さん（2019年度卒業）
株式会社M&A総合研究所

主体性の鍛錬が目に見える成果に

大学生活で培った「主体性」が、ビジネスの総合格闘技と呼ばれるM&A仲介の現場での大きな武器となっています。卒業アルバムに記した「BIGになる」という夢は、年収1,500万円突破という通過点を経て、確かな野心に変わりました。大学で学んだ思考力と鍛錬が、目に見える成果と報酬につながる。その手応えが、今の私のやりがいです。

伊藤 帆南さん（2019年度卒業）
セイコータイムクリエーション株式会社

スポーツの正確な「時」を提供する

私は営業職としてスポーツ計時計測機器を取り扱っています。現在は日本野球界に未導入だったメジャーリーグの“ピッチクロック”というルール対応の新製品拡販に力を入れており、社会人野球、プロ野球2軍、侍ジャパンへ導入することに成功しました。学生時代の留学、サークル創設、ボランティアなど新規挑戦の姿勢が活きていると思っています。

斉藤 梨彩子さん（2022年度卒業）
福岡ソフトバンクホークス株式会社

企業と球団をつなぎ「感動」を届ける

私は福岡ソフトバンクホークスで、看板広告や年間席などを提案する法人営業を担当しています。お客様のニーズに応え、喜んでいただけたときにやりがいを感じます。もともと野球が大好きでしたが、大学時代にプロ球団のアンバサダーとしてイベント企画に携わったことを機に、多くの人に感動を届けたいと球団職員を志したのが、私の原点です。

渋井 さくらさん（2023年度卒業）
プーマジャパン株式会社

洋服でスポーツの魅力を伝える

私は現在、プーマの直営店舗で勤務しています。接客・販売を通して、商品の魅力だけでなく、スポーツの楽しさやライフスタイルとしての価値をお客様に伝えています。大学でスポーツについて幅広く学んだことでその魅力を自分の言葉で伝えられるようになり、今の仕事にも大きく活かされていると日々実感しています。

ADMISSION

令和9年度 入試情報

スポーツ科学部入試情報
https://www.css.nihon-u.ac.jp/admissions/

日本大学入試情報
https://www.nihon-u.ac.jp/admission_info/

総合型選抜（アスリート型）

こんな人にオススメです　スポーツ活動に打ち込み、実績をアピールできる方

募集人員	出願期間	試験日	合格発表日時・発表方法	選考方法	
53名	令和8年 9月1日（火）～ 9月11日（金）	第一次選考 令和8年9月29日（火）※1	令和8年10月7日（水） ・本人宛て発送 （簡易書留・速達）	第一次選考 （書類審査）	①志望理由書（学部指定用紙） ②出身高等学校調査書等 ③スポーツ活動歴（学部指定用紙）
		第二次選考 令和8年10月24日（土） （令和8年10月25日（日）※2）	令和8年11月10日（火）12時 ・マイページ	第二次選考※3	①課題レポート※4 ②課題レポートに関するプレゼンテーション及び口頭試問 ③面接

※1 試験のために来校の必要はない。※2 出願状況によって10月25日（日）に実施する場合がある。※3 対象は第一次選考通過者のみ。
※4 第二次選考受験者は、第一次選考結果通知に同封された課題についてレポートを作成し、令和8年10月16日（金）までに提出しなければならない（郵送必着）。

出願書類

①出願確認票（マイページから出力）
②志望理由書（学部指定用紙）
③出身高等学校等調査書等
④スポーツ活動歴とその証明書（学部指定用紙及びインターネット上での登録）

出願資格（要件のいずれかに該当する者）

①高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者。
②高等学校又は中等教育学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び満たす見込みのある者で、入学時点で18歳に達しているもの。

出願要件（要件のすべてに該当する者）

①本学部のアドミッション・ポリシー及び教育内容を理解し、本学部を第一志望とし、合格した場合、本学部に入学することを確約できる者。
②スポーツ活動で顕著な活躍が認められた者で、かつ本学部に入学を強く希望するもの。

総合型選抜（自己アピール型）

こんな人にオススメです　競技歴にかかわらず、多種多様な活動実績を通じてスポーツに貢献したい方

募集人員	出願期間	試験日	合格発表日時・発表方法	選考方法	
20名	令和8年 9月1日（火）～ 9月11日（金）	第一次選考 令和8年9月29日（火）※1	令和8年10月7日（水） ・本人宛て発送 （簡易書留・速達）	第一次選考 （書類審査）	①志望理由書（学部指定用紙） ②出身高等学校調査書等 ③活動報告書（学部指定用紙） ④自己アピール書（学部指定用紙）
		第二次選考 令和8年10月24日（土） （令和8年10月25日（日）※2）	令和8年11月10日（火）12時 ・マイページ	第二次選考※3	①課題レポート※4 ②課題レポートに関するプレゼンテーション及び口頭試問 ③面接

※1 試験のために来校の必要はない。※2 出願状況によって10月25日（日）に実施する場合がある。※3 対象は第一次選考通過者のみ。
※4 第二次選考受験者は、第一次選考結果通知に同封された課題についてレポートを作成し、令和8年10月16日（金）までに提出しなければならない（郵送必着）。

出願書類

①出願確認票（マイページから出力）
②志望理由書（学部指定用紙）
③出身高等学校等調査書等
④活動報告書（学部指定用紙）
⑤自己アピール書（学部指定用紙）

出願資格（要件のいずれかに該当する者）

①高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者。
②高等学校又は中等教育学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び満たす見込みのある者で、入学時点で18歳に達しているもの。

出願要件（要件のすべてに該当する者）

①本学部のアドミッション・ポリシー及び教育内容を理解し、本学部を第一志望とし、合格した場合、本学部に入学することを確約できる者。

一般選抜

方式	募集人員	試験日	受験教科科目数	教科・科目		配点
AN共通日程方式	62名	令和9年 2月3日（水） 4日（木） 5日（金）	3教科 3科目	国語	「現代の国語、言語文化（漢文を除く）」	100
				地理歴史 公民 数学	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、政治・経済」、 「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A（図形の性質、場合の数と確率）、数学B（数列）、数学C（ベクトル）」のうちから1科目選択	100
				外国語	「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」	100
				※募集人員は、3日間の試験を合わせた人数とする。 ※合否判定は、2月3日・4日・5日の各試験の得点を中央値補正法による得点調整を行い、得点調整後の総合点で合否判定する。同一人物が複数日に受験した場合は、試験日ごとに合否判定する。 ※試験日が異なれば、本方式を実施する複数の学部・学科に出願できる。また、異なる試験日で同一学部・学科に出願することも可能（複数の学部が試験日ごとに共通の問題で実施し、試験日を自由に選択できる）。 ※複数日程に同時出願する場合、入学検定料割引制度が適用される。 ※学力検査は全問マークシート方式。 ※選択科目は指定の全科目を出題し、試験当日、選択させる。なお、試験日ごとに受験できる科目が異なる。 地理（地理総合、地理探究）は、2月3日のみ実施。 数学は2月3日・4日に実施（2月5日は実施なし）。 その他の科目は全日程で実施する。 ※外部の英語資格・検定試験スコアを外国語の得点として利用することができる。スコアを提出した場合は受験するAN共通日程方式の外国語の試験を受験する必要は無いが、受験した場合は、高得点の方を合否判定に使用する。 **※最新の情報は必ず日本大学HP掲載予定の「一般選抜募集要項2027」でご確認ください。**		
N全学統一方式	第1期 10名	令和9年 2月1日（月）	2教科 2科目	外国語	「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」	100
				国語 地理歴史 公民 数学①	「現代の国語、言語文化（漢文を除く）」 「地理総合、地理探究」 「歴史総合、日本史探究」 「歴史総合、世界史探究」 「公共、政治・経済」 「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A（図形の性質、場合の数と確率）、数学B（数列）、数学C（ベクトル）」	100
	第2期 5名	令和9年 3月4日（木）		※上記の選択科目を指定科目数以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用する。 ※上記の得点を標準化得点に換算し、合否判定する。 ※外部の英語資格・検定試験スコアを外国語の得点として利用することができる。スコアを提出した場合は受験する第1期、第2期の外国語の試験を受験する必要は無いが、受験した場合は、高得点の方を合否判定に使用する。		

納入金

※納入金は変更になる場合があります。

種別	項目	初年度納入金額		
		入学手続時	後学期（9月）	計
学費	入学金（初年度のみ）	260,000円	-	260,000円
	授業料	400,000円	400,000円	800,000円
	施設設備費金	150,000円	150,000円	300,000円
	実験実習料	50,000円	50,000円	100,000円
その他	日本大学三軒茶屋キャンパス後援会費	15,000円	15,000円	30,000円
	日本大学校友会準会員（在学生）年会費※1	10,000円	-	10,000円
	計	885,000円	615,000円	1,500,000円

※1 卒業年度後学期に正会員会費初年度分を10,000円納入。

※記載の入試情報は変更になる場合があります。出願の際は必ず　日本大学Webサイトにて最新の「募集要項」をご確認ください。

Q&A

スポーツ科学部でよくある質問や受験生の皆さんから寄せられる質問をまとめました。

Q1 3つのコースの違いは何ですか。

一番の違いは学びの対象です。

アスリートコースはアスリートのスポーツ実践に関わる学び、スポーツサポートコースはスポーツを取り巻くサポート体制に関する学び、スポーツマネジメント・文化コースはスポーツビジネスやマネジメントの手法などに関する学びが中心となります。

Q2 運動が得意ではありません。アスリートじゃなくても授業についていけますか。

実技内容やパフォーマンスを直接的に評価することはありません。

ご自身の競技力は成績評価の対象ではありません。
講義やディスカッション、ロールプレイングを中心として、理論を競技活動へ活かす学びを提供します。

Q3 スポーツ科学部で取得できる資格について教えてください。

卒業と同時もしくは在学中に取得できる資格が5つあります。取得方法はそれぞれ条件が異なります。

1. 初級パラスポーツ指導員
2. 日本サッカー協会公認　C級コーチ
3. キャンプインストラクター
4. 日本スポーツ協会
（免除適応コース共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、水泳コーチ、スポーツリーダー）
5. JATI認定トレーニング指導者資格

教員免許は取得できません。ただし卒業後に科目等履修生として文理学部の教職課程（体育）を履修し、最短3年程度で教員免許を取得する方法があります。条件等詳細については、お問い合わせください。

Q4 サークル活動等でスポーツをすることはできますか。

はい、できます。サークル活動などを通してスポーツを楽しむことができます。

主な種目は、陸上、バスケットボール、水泳、バレーボール、サッカー、バドミントン、スポーツクライミング、ボディビル（大会出場レベル）です。

その他、併設されている危機管理学部の学生と混合の、室内競技を中心としたサークル活動があります。

この活動内容は、週2～3日程度の練習を通して仲間との絆やチームワークを築きながら、日本大学スポーツ大会や地域の大会に出場するなど精力的に活動しています。